

第3回元気農場見学会が行われました

とうきょう元気農場

小春日和となった 11 月 17 日(火)、文京区立^{かこまち}駕籠町小学校の生徒 49 名が参加して、元気農場見学会を実施しました。

今回の体験は、タマネギの植付けとサツマイモの芋ほりでした。タマネギは一人 20 本ずつの植付けでしたが、子供ながらに「腰が痛い！」と野菜作りの大変さを体感していました。芋ほりは、「もっとやりたい！」と疲れる様子なく、収穫の喜びを味わっていました。

午後は農場内で生産されている野菜を見学し、農家のご厚意で亀戸大根を収穫体験しました。思わぬ追加の体験に児童たちは大喜びでした。

また、集出荷場では翌日に給食の食材として出荷される大蔵大根の調整・箱詰め作業を見学しました。農業機械も大人気で、農業に親しみを持ってたようです。



タマネギの植付け



サツマイモの芋ほり



珍しい万次郎南瓜を見学



亀戸大根を収穫



トラクターやバックホーに乗車

冬至向けカボチャも元気農場で作っています。

カボチャは冬至(一年で一番昼が短い日)に食べると体にいいとされてます。実はカボチャの収穫期は夏から始まります。12月に都内産のカボチャを食べられるよう、収穫期が遅く、貯蔵性の良い「万次郎」という品種のカボチャを作っています。



←カボチャの花

8月頃の果実→



生育旺盛で畑を葉がうめ尽します(夏)→

